

横浜市中企業振興基本条例に基づく 平成 25 年度の取り組み状況について

- 1 中小企業振興施策の実施状況について 2

【報告書掲載事業】 3事業／全体65事業

番号	事業名	掲載頁
58	アーツコミッション事業（創造的産業振興モデル事業）	2（冊子51）
59	ヨコハマ・グッズ「横濱001」育成支援事業	3（冊子52）
60	MICE誘致・開催支援事業（MICE開催支援）	4（冊子53）

- 2 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大
について 5

58

アーツコミッション事業
(創造的産業振興モデル事業)

25決算額	20,000
24決算額	-

(文化観光局創造都市推進課)

＜事業・取組のねらいと概要＞

都心部に集積を進めてきたアーティスト・クリエイターと、市内中小企業双方の意欲的で創造的な活動を支援し、新たなビジネス機会の創出や創造的産業の振興につなげるための取組を、25年度から開始しました。両者をつなぐ、マッチングコーディネーターが、販路の確保や企業の利益率などを考慮に入れながら、事業を進めています。

【25年度の具体的な実績・成果等】

コーディネートの中心的役割を担う「マッチングコーディネーター」を選定し、市内中小企業へのヒアリング等を行いました。

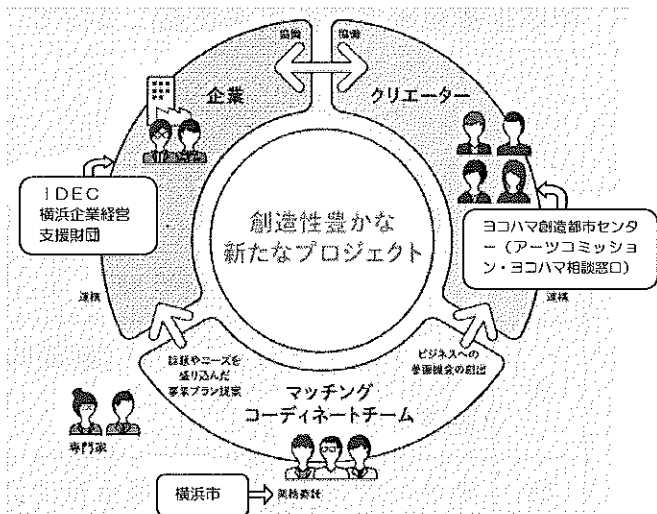
また、年度末に実施したマッチングイベント『YOKOHAMA RE:ACTION』(注)においては、5社が試作品を発表しました。

(実績数値表示例)

主な指標・実績	25年度
中小企業ヒアリング件数	7社
『YOKOHAMA RE:ACTION』での試作品の発表	5社

『YOKOHAMA RE:ACTION』(注)

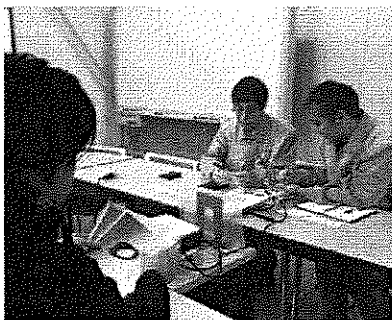
モデル事業を推進するため、シンポジウムや試作品の展示など企業とクリエイターの交流の場を創出する目的で開催。



＜市内企業等の声、反応、活用事例等＞

○ヒアリングの結果、複数の企業から次のような声がありました。

- ・自社ブランドの商品を開発したいと考えていたので、コーディネーターの支援に期待している。
- ・過去にデザインマッチング等の事業を利用したが、売れる商品になるまでに至らなかった。今回のように販路を想定して事業を進めることは大切だ。



市内中小企業と
マッチングコーディネーターによる商品
開発に向けた検討。

＜課題と26年度以降の対応＞

【課題】

- 中小企業の多くは、高い技術力を持ち、品質のいいものを作ることに重点を置いている一方、デザイン等創造性に関する分野への関心が低い。
- 本事業を進める際、新規商品の販路確保及び、デザインなどにかかる費用の回収が課題となっています。

【26年度以降の対応】

- 展示会出展やシンポジウム・勉強会の開催等により、創造性をビジネスに活用する効果についてPRしていきます。
- 専門家の意見を取り入れながら、販路を開拓するとともに、構成員相互にメリットがある付加価値が高い商品を開発していきます。

59

ヨコハマ・グッズ『横濱 001』育成支援事業

25決算額	4,752
24決算額	3,460

(文化観光局観光振興課)

<事業・取組のねらいと概要>

市政 100 周年の横浜博覧会開催 (1989 年) を契機に、横浜ならではの土産品等によるシティセールスを目的に、地域ブランド『ヨコハマ・グッズ「横濱 001 (ヨコハマゼロイチ)」』がスタートしました。現在は 2 年ごとに審査会において厳選し、ギフトや横浜土産になる良質な商品を認定しています。

このブランドを管理する一般社団法人 YOKOHAMA GOODS001 の会員の多くは、市内の中小企業で構成されており、本事業を通じて、企業単独では困難な販路拡大や、コンベンション・イベントへの出展などの PR 機会を創出し、中小企業支援に努めています。

【25 年度の具体的な実績・成果等】

○会員企業数

主な指標・実績	15 期 (25~26 年度) (うち中小企業数)	14 期 (23~24 年度) (うち中小企業数)
会員企業数	105 社 (84 社)	81 社 (65 社)

※会員企業とは、一般社団法人 YOKOHAMA GOODS001 の目的である地域ブランドによる横浜の PR に賛同し、認定商品または販路拠点を保有する団体もしくは企業です。

※26 年 11 月に第 16 期認定審査会を実施予定です。

○コンベンション・イベントへの参加

25 年度は「2013 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 EXPO」、「都市対抗野球協賛観光物産展」や「はこだてグルメサーカス」など、12 件のコンベンションやイベントへ出展しました。

○その他ヨコハマ・グッズ「横濱 001」の PR

- ・日本航空との企業タイアップ事業で、機内誌「SKYWARD」・「JALSHOP」への「横濱 001」紹介記事および商品掲載。
- ・全国の百貨店で展開する催事「横浜・中華街展」への出展 (名古屋三越等、年間約 60 回)
- ・横浜市の広報メディア (tvk 「ハマナビ」、東急電鉄情報誌「SALUS」等) で商品を紹介

○ヨコハマ・グッズ「横濱 001」ショップ

市内 10 箇所 (高島屋横浜店 7 階、横浜マリンタワー 2 階ショップ、横浜大世界、他)

<市内企業等の声、反応、活用事例等>

○PR 活動の状況

「横浜・中華街展」の様子

(10 月 9 日~14 日 名古屋三越にて)



<課題と 26 年度以降の対応>

【課題】

○ヨコハマ・グッズ「横濱 001」を多くの方に認知してもらうため、商品の PR、販路拡大をより一層推進する必要があります。

【26 年度以降の対応】

○引続き効果的なコンベンション・イベントへの出展補助の他、市内大学との協働事業による PR 活動、新規販路開拓のための営業活動のバックアップ等により、より一層の中小企業支援に繋がります。

60

MICE 誘致・開催支援事業 (MICE 開催支援)

25決算額	19,133
24決算額	22,555

<事業・取組のねらいと概要>

(文化観光局コンベンション振興課)

市内関連事業者を活用したコンベンションの誘致・開催支援及びアフターコンベンションの促進を目的に事業を行いました。

会議開催に伴う支援メニューを市内関連事業者に発注することで市内経済の発展を促すとともに、横浜の特色を活かした国際コンベンション都市を確立するための支援策として推進しました。

【25年度の具体的な実績・成果等】

○横浜 MICE 開催応援プラン

(公財)横浜観光コンベンション・ビューローと一体となり、市内で開催される MICE に対して、市内中小企業等から調達した物品やサービスを現物で支給する支援制度を運用しました。

支援件数		主な支援メニュー内容
25年度	24年度	
57件	42件	コンGRESバッグの提供、アトラクションの派遣、市内観光プログラムの提供、看板・横断幕の提供等

○市内事業者と連携したコンベンション受入れ環境の向上

市内中小企業等が連携し、情報共有等を通じ、コンベンション受入れ環境の向上に努めました。

・MICE 部会の開催 (4回)

<市内企業等の声、反応、活用事例等>

○横浜 MICE 開催応援プランの活用事例



【アトラクションの派遣】



【市内観光プログラムの提供】

<課題と 26 年度以降の対応>

【課題】

○横浜 MICE 開催応援プラン

想定を上回る利用申請があり、申請のあった支援内容に、応えきれていないケースがあります。

○市内事業者と連携したコンベンション受入れ環境の向上

MICE 誘致・開催支援に積極的に取り組む事業者から、横浜の新たな魅力を発掘するための、事業者間で連携する場が求められています。

【26 年度以降の対応】

○横浜 MICE 開催応援プラン

できるだけ多くの利用申請に応えられるよう、支援拡充を検討します。

○市内事業者と連携したコンベンション受入れ環境の向上

横浜の新たな魅力を発掘するため、ユニークベニュー(※)開発に取り組む部会を新たに設置します。

(※)ユニークベニューとは・・・歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

2 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大について

(1) 平成25年度の受注機会増大に向けた取組

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、市内経済の活性化の観点から、従来から市内業者への優先発注を基本方針とし、市内業者の入札参加機会の確保のため、専門事業者への分離発注やコスト面を考慮した分割発注を進めてきました。

平成25年度の市内中小企業者への発注状況については、件数で92.7%、金額で74.0%の構成比率となっています。対前年度増減比では、件数は5.1%増加していますが、金額は4.2%減少しています。減少の理由は、緊急雇用創出事業が終了したことによるものです。

(2) 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、今後も有資格者名簿により対象業者の所在区分及び企業規模の確認を徹底し、市内のアーティスト・クリエイターの活用など、より一層市内中小企業者への優先発注を図るとともに、適切に分離・分割するなど受注機会の拡大を図ります。

また、やむを得ず市内中小企業者以外へ発注する場合は、引き続き当該業者を選定する理由を発注何に明記するとともに、理由の確認を徹底します。

市内中小企業者への発注状況(文化観光局契約分)

区 分	契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)									単独随意契約及び大規模契約の合計	
	市内中小企業契約実績							件数	金額	件数	金額
	件数	構成比率	対前年度増	対前年度減	金額	構成比率	対前年度増				
	件	%	%	%	千円	%	%	件	千円	件	千円
平成25年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	142	97.3	5.2	7,402	96.3	2.1	146	7,690	32	7,295
	委託	101	87.1	6.5	73,339	72.3	▲ 5.1	116	101,488	99	259,371
	合計	243	92.7	5.1	80,741	74.0	▲ 4.2	262	109,178	131	266,666
平成24年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	199	92.1	7.8	11,332	94.2	21.2	216	12,033	20	6,426
	委託	112	80.6	16.8	191,742	77.4	29.1	139	247,710	63	383,478
	合計	311	87.6	9.3	203,074	78.2	26.0	355	259,743	83	389,904

※ 「構成比率」はそれぞれの数値(件数または金額)が契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)に占める割合
 ※ 「契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績等の調査」と同様に、中小企業者の参入の余地がない単独随意契約及び大規模契約(政府調達協定(WTO)対象契約)を除いたもの

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況(財政局契約部契約分)

区 分		契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)								単独随意契約及び大規模契約の合計	
		市内中小企業契約実績								件数	金額
		件数	構成比率	対前年度 増減	金額	構成比率	対前年度 増減	件数	金額		
件	%	%	千円	%	%	件	千円	件	千円		
平成 25 年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	42	76.4	▲ 6.0	19,281	32.9	▲ 44.7	55	58,600	0	0
	委託	2	100.0	50.0	4,967	100.0	58.2	2	4,967	0	0
	合計	44	77.2	▲ 1.7	24,248	38.1	▲ 30.9	57	63,567	0	0
平成 24 年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	14	82.4	2.4	14,482	77.6	11.8	17	18,650	0	0
	委託	1	50.0	▲ 50.0	2,490	41.8	▲ 58.2	2	5,955	0	0
	合計	15	78.9	▲ 10.0	16,972	69.0	▲ 23.1	19	24,605	0	0

※ 「構成比率」はそれぞれの数値(件数または金額)が契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)に占める割合
 ※ 「契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績等の調査」と同様に、中小企業者の参入の余地がない単独随意契約及び大規模契約(政府調達協定(WTO)対象契約)を除いたもの